

報 告 書

ただいま上程されました「議案第2号 平成24年度伊勢市一般会計予算外11件一括」について、予算特別委員会の審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

委員会は、3月5日本会議散会後、会議を開き、正副委員長の互選を行いました。そして、3月8日午前10時に継続会議を開き、12議案を一括議題として一般会計から審査に入り、9日、12日、13日、14日、15日の延べ6日間にわたる質疑の後、討論を経て、採決を行いました。

その結果、「議案第10号 平成24年度伊勢市病院事業会計予算」については賛成多数をもって、「議案第3号 平成24年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」「議案第4号 平成24年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」「議案第5号 平成24年度伊勢市介護保険特別会計予算」「議案第6号 平成24年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」「議案第7号 平成24年度伊勢市農業集落排水事業特別会計予算」「議案第8号 平成24年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」「議案第9号 平成24年度伊勢市土地取得特別会計予算」「議案第11号 平成24年度伊勢市水道事業会計予算」「議案第12号 平成24年度伊勢市下水道事業会計予算」「議案第13号 平成24年度伊勢市認知症対応型共同生活介護事業会計予算」の11件については全会一致をもって、それぞれ原案どおり可決すべしと決定いたしましたので、御報告いたします。

ただし、「議案第2号 平成24年度伊勢市一般会計予算」につきましては、付帯決議の申し出があり採決の結果、賛成多数で可決いたしました。付帯決議の内容は、やすらぎ公園プールの解体経費に関するもので、市民プールの位置づけ、考え方が、現段階では明確でなく、その答えが出るまで、やすらぎ公園プール施設解体経費の予算執行は停止すべきというものであります。

さて、平成24年度予算は、一般会計が447億4,065万8千円、特別会計・企業会計を含めた総額は899億5050万6千円と、いずれも前年度の当初予算と比較して、一般会計で1.5%、6億6,244万3千円の増、また、総額では

1. 4%、12億2,668万6千円の増となっています。

市長が諸施策をまとめられた「伊勢市やさしさプラン」の実現を念頭に編成された本予算の審査に当たりましては、多岐にわたる市民ニーズを的確に捉え、市の活性化に配意しつつ事業の取捨選択ができているのか、合併に伴い生じている諸格差の是正や、東日本大震災により大きく見直された当地域における地震・津波の防災対策や、少子化に伴う小中学校の適正配置・適正規模など喫緊の課題への対応が図られているか、また、これまでの常任委員協議会や、昨年9月の決算特別委員会審査における指摘・意見等が反映されているか等の観点を基本に、一般会計ではやすらぎ公園プールの解体経費の問題、児童・高齢者福祉、地域内分権、産業振興、防災など、また病院事業会計では改善の兆しのない赤字体質からの脱却や経営形態の見直し、また医師確保の問題等々について、詳細にわたる質疑、意見陳述が展開されました。

また討論におきましては、12件一括に対する二名の委員から賛成討論が行われましたことをご報告させていただきます。

また、議会改革特別委員会の委員長報告にもありましたように、議会の機能強化のため、今回の予算特別委員会から自由討議を採用し、各会計終了時に議員間で討議する時間をもたせていただきました。審議を深めるために有意義な取り組みであり、今後さらなる改善を重ね、議会機能の強化につなげていくべきとの意見を申し添えいたします。

審査の概要は以上であります。

当局におかれましては、予算の執行に際し、審査の過程における各委員の質疑、意見や指摘のありました諸点について十分留意され、「すべての市民がやさしさに包まれて生活できるまち」の実現を意識し、行財政運営を遂行されるよう強く要望して、予算特別委員会の審査結果の報告といたします。

本会議におかれましても、よろしくご決定くださいますよう、お願い申し上げます。

平成24年3月23日

予算特別委員会委員長 長田 朗

伊勢市議会議長 西山 則夫 様